

## 平成26年度 異常時総合訓練について

10月29日、東葉高速鉄道の車両基地で、異常時総合訓練を実施しました。この訓練は、社員の異常時対応能力の向上を図る目的で、大規模な災害や事故などを想定して、昨年引き続き実施したものです。

今回は震度6強の地震が発生し、八千代緑が丘駅から約700mの地点で列車が脱線したという状況を設定しました。訓練には乗務員、駅係員といった現場の社員のほか、管理部門の社員など総勢103名が参加し、避難誘導、救護活動、脱線した車両の復旧や破損したレールの交換などを実施しました。

特に、避難誘導や救護活動訓練は、八千代市消防本部と八千代警察署にもご協力いただき、本格的な訓練といたしました。

今後も東葉高速鉄道は定期的に訓練を実施し、いざという時にもお客さまの安全を守ることができるよう、経験を積み上げ、技能を高めてまいります。

### ■避難誘導訓練



脱線した列車内のお客様を非常脱出梯子で避難させ、安全な場所まで誘導。

### ■救護活動訓練



脱線により、怪我をされたお客様の救護。

### ■破損設備の復旧



破損したレールの交換。

### ■脱線車両の復旧



脱線によって動かなくなった車輪を回転させるための器具の装着。